

## 組合まつり in TOKYO ～技と味の祭典！～ 山梨の豊かな自然が生み出した織物と日本酒

富士吉田織物協同組合  
西桂織物工業協同組合  
山梨県酒造協同組合

東京都中央会主催の組合まつり in TOKYO が、12月18日(水)～19日(木)の2日間、東京国際フォーラムで開催され、本県から富士吉田織物協同組合、西桂織物工業協同組合、山梨県酒造協同組合の3組合が出展し、展示・販売を行った。

このイベントは、「中小企業世界発信プロジェクト2020」の一環として、東京都だけではなく全国の中小企業組合が一同に会したもので、インバウンド需要を含む新たなビジネスチャンスや販路開拓を目的に平成29年から開催されている。3年目となる今年は全国から124の組合や中小企業が出展、10,000人を超える来場者を迎えた。

富士吉田織物協同組合の(有)カシワギは、先染めで細番手の糸を高密度に織った「ふじやま織」によるネクタイや国産絹100%で軽くて通気性と保湿性を備え柔らかな人気商品「まわたスカーフ」を出品、西桂織物工業協同組合の(株)榎田商店は、蛙張りの技を使い表地が見る角度で色が変わる



シャンブレーの撥水仕上げで内側は服地作りの経験を生かしたカットジャカードを使用した傘を出品した。甲斐絹の伝統と職人技が光り厳しい品質基準に合格した商品が数多く並んだ。

山梨県酒造協同組合では、山梨県産の米と水を100%使い日本酒で水の違いを表現した山梨県原産地呼称日本酒管理制度で認定された純米酒やスパークリング日本酒の試飲を行った。また、各蔵の仕込み水も持参し山系による水の飲み比べも行ったところ、メディアや来場者から好評で、山梨の「水」への関心も高まった。

次回の組合まつりは、2021年1月26～27日に開催が決定し、東京都中央会では多くの出展を期待している。